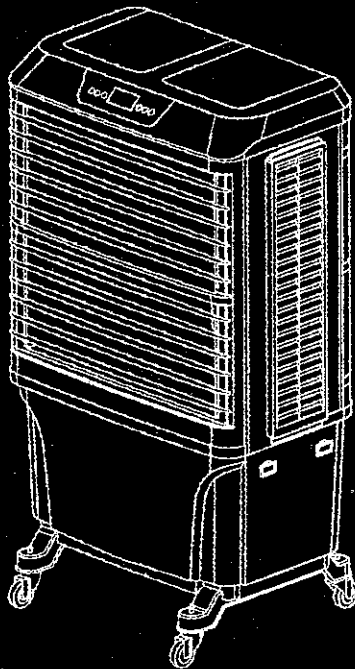


取扱説明書



もくじ

ページ

使用前

安全上のご注意

- 警告
- 注意

各部のなまえ

- 本体
- 付属品
- 操作部、表示部

知っていただきたいこと

- 使用する場所
- 使用前のご注意
- 使用前の準備

2
2
3
5
5
6
7
7
8

使用中

運転モードを切り換えるとき

- 運転を開始・停止するとき
- 冷風・送風を切り換えるとき
- 風量を切り換えるとき
- 左右スイングするとき
- イオンモード運転とき
- タイマー運転とき

9
9
10
10
11
11
12

点検・その他

日常の点検・お手入れのしかた

- 日常の点検
- 週に一回のお手入れ
- 異常の場合の処理
- 廃棄のしかた

仕様

保証とアフターサービス

13
13
13
14
15
裏表紙
裏表紙

このたびはMDI気化式冷風器をお買いあげいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。

日本国内専用 Use In Japan only

Feria

フレリアココおよびFeriaは、MDI株式会社の商標です。

安全上のご注意

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

ここでは、本製品の運用上で生じてはならない万一の事故を、未然に防ぐための注意事項を記述しています。とくに誤った取扱によって想定される危険や損害の程度を2段階の【警告マーク】によって示しています。いずれも安全に関する重要な事項ですから必ず守ってください。

⚠ 警告

この表示は人が死亡または重傷を負う差し迫った危険または危険性が想定される事項です。

⚠ 注意

この表示は人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される事項です。

図記号の説明



思わぬ事故の恐れがありますので取扱中にしてはいけないことを示します。



事故の恐れがありますので、手を触れてはいけないことを示します。



感電の恐れがありますので指示に従ってください。



危険防止のため取扱中に適切な処置をどよう指示にしたがってください。



警告

火災や漏電、感電、けがを防ぐ

電源コード・電源プラグ・コンセントについて



- AC100V以外では使わないでください。また日本以外では使わないでください。(火災・感電の原因となることがあります。) 定格15A(アンペア)以上のコンセントを使ってください。(他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因となります。) お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてください。



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。抜くときはコード部分を引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。

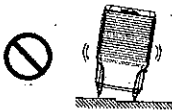


ご使用前

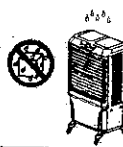
ご使用中

点検・その他

設置・使用する場所について



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

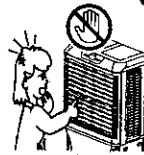


- 本製品は屋内専用です。屋外や雨や雪の降りかかる場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。

ご使用の際にはお守りください



- 運転中にクーリングパッドを外さないでください。分解や修理は資格のある技術者以外の人が行ってはいけません。改造は危険ですので絶対に行わないでください。



- 小さいお子様がいる場所では吹出口に防護ネット（オプション）を取付け、吹出口や吸込口に指や棒などは絶対に入れないでください。



注意

感電やけがを防ぎ、家財などを守る

電源コード・電源プラグ・コンセントについて



- 差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの金属部に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。



- 旅行などの長期不在時は電源プラグを抜いてください。（火災の原因となることがあります。安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。）
お手入れは電源プラグを抜いて行ってください。
電源プラグ・外部機器・転倒防止具をはずして移動させてください。（電源コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。）



- とときは電源プラグを抜き、ほこりや異物を除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

ご使用前

ご使用中

点検・その他

設置・使用する場所について



- 本製品は必ず水平に設置してください。斜面に設置すると漏水することがあります。設置後は本体移動用のキャスターのストッパーをかけて固定してください。



- 万一に備え、漏水しても問題ないところに設置してください。



- 運転中は換気を十分に行ってください。閉めきったところでは湿度が過度に上昇し、冷却効果も悪くなります。



- 本製品の背面は十分空けてください（最低30cm）。狭すぎると、運転音が高くなったり、モータが過負荷で焼損する原因になります。

ご使用前

ご使用の際にはお守りください



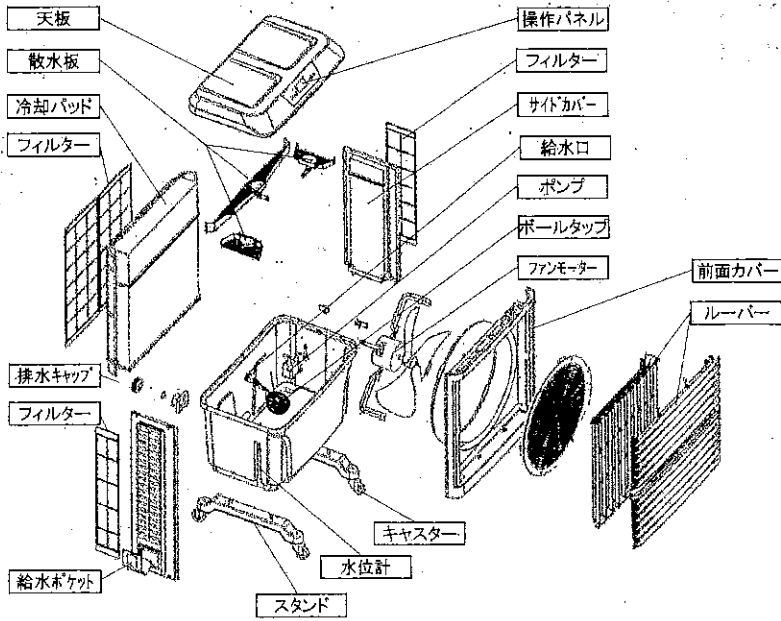
- 運転中は換気を十分に行ってください。初めて運転する場合、1日程度クーリングパッドから樹脂分のおおいが発生します。水交換を頻繁に行うとおおいは早く解消されます。日々の運転終了時には、臭いの発生を防ぐために排水することをお薦めします。
- 貯水タンクに水を貯めたまま本体を移動すると、水漏れすることがあります。
- ポンプの長時間空転は故障の原因となります。水が不足すると水位センサが動きポンプを自動停止しますが、水不足のアラームが表示された場合は、できるだけ早く給水するか、冷風運転を停止して送風運転でご使用ください。
- 補給水は必ず水道水をご使用ください。井戸水や工業用水を使用すると、故障や臭気発生のおそれがあります。
- 長期間ご使用して頂くために、定期的な保守点検をお願いします。クーリングパッド等の汚れの状態を確認しながら適切に行ってください。
- 本体の上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。落下、転倒などでケガや感電、故障の原因となることがあります。

ご使用中

点検・その他

各部のなまえ

本体



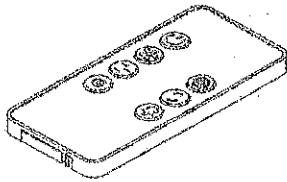
ご使用前

ご使用中

点検・その他

付属品

リモコン



電池(1個)

(リモコンの中に入っています)
 (リチウム CR2025)



印刷物

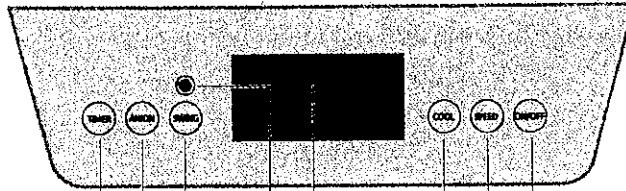
・取扱説明書(1部)



各部のなまえ (つづき)

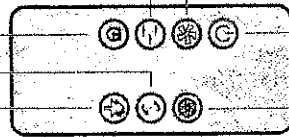
操作部/表示部

操作部



- タイマーボタン
- イオン運転ボタン
- スイングボタン
- 使用しません
- リモコン受信部
- 表示部
- モード切替ボタン
- 風量切替ボタン
- 電源ボタン

リモコン



表示部



- 温度表示
- 運転中表示
- 風量表示
- 給水アイコン
- 冷風モードアイコン
- タイマーアイコン表示
- イオンモードアイコン
- スイングアイコン

ご使用前

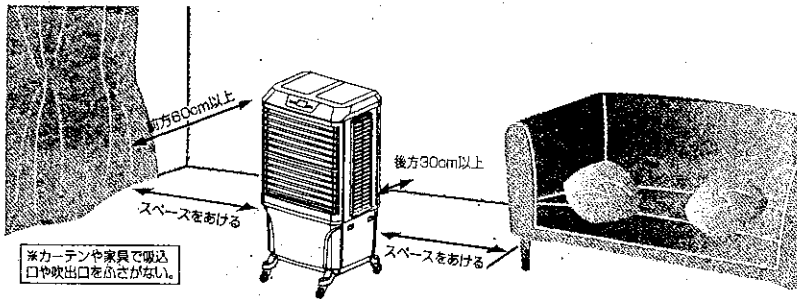
ご使用中

点検・その他

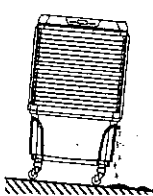
知っていただきたいこと

使用する場所 本体を適切な場所に設置してください。

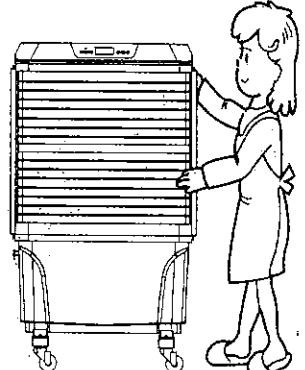
- 吸込口を壁や家具に近付けた状態で使用すると、シミや変形のおそれがあります。左右吸込口のいずれかは開放とし、残りの面も壁や家具から30cm以上あけてください。
 運転時は吹出口をふさがないようにして前方80cm、後方30cm以上あけてください。運転中に左右スイングをおこなう場合は、カーテンなどに温風が当たらないようにスイング方向を調節してください。シミや変色の原因となります。



使用前のご注意 本装置を安定した場所に設置してください。



- 万一に備え、漏水しても問題ないところに設置してください。
- 必ず水平で安定した平らな床の上に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となります。



● 設置後は、本体移動用キャスターのストッパーをかけて固定してください。

ご使用前

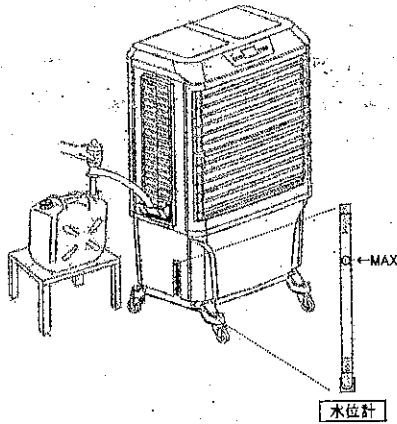
ご使用中

点検・その他

使用前の準備

本体を安定な場所に置いてください。

給水方法



気化式冷風機フレリアへの給水方法

- ① 給水をする前にタンク下部の排水口に排水キャップをしっかり取り付けられていることを確認してください。
- ② 給水ポケットのふた手前に引き出して、ポジョッキやバケツ等で必ず水道水を給水してください。
- ③ 井戸水や工業用水を使用すると、クーリングパッドや散水板内で藻や細菌が増殖しやすく、冷却効率の低下や周期発生及び故障の原因となる恐れがあります。
- ④ タンクの右側に水位計がついていましてタンクの水位が上限を超えないように確認しながら給水してください。
- ⑤ 後面の給水口を使うと水が満タンになると自動停止します。

* 初めて運転をする場合、冷却パッドから樹脂成分のにおいが発生します。水交換を頻繁に行うことにより、においは早く解消されます。

電源を供給する

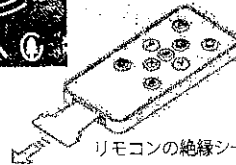
本体の準備

電源プラグを差し込むと「ピッ」と音が鳴り、操作パネルの液晶表示が点灯します。



リモコンの準備

リモコンの電池の透明絶縁シートを引き抜き、リモコンを使える状態にします。

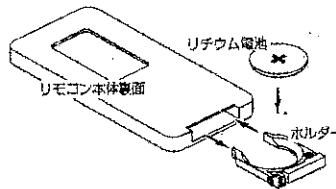


リモコンの絶縁シートを引き抜く。

リモコン電池の交換

リモコンの電池を交換するときは

- ① ホルダーのツメを中心側に押しホルダーを引き出します。
- ② ホルダーにリチウム電池CR2025を上側にして乗せます。
- ③ 電池を載せたホルダーを「カチッ」と音がするまで押し込みます。



ご使用前

ご使用中

点検・その他

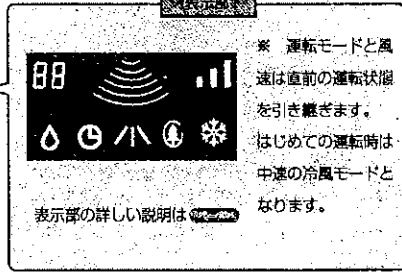
運転モードを切り換える

運転を開始・停止するとき

運
転
開
始



- 電源プラグをコンセントに差し、このボタンを押すと運転を開始します。運転中に水が不足すると、水位センサーが働きポンプを自動停止します。その場合はできるだけ早く給水するか、冷風モードを停止して送風モードでご使用ください。



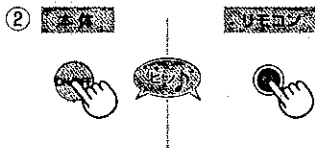
※ 運転モードと風速は直前の運転状態を引き継ぎます。はじめての運転時は中速の冷風モードとなります。

表示部の詳しい説明は [こちら](#)

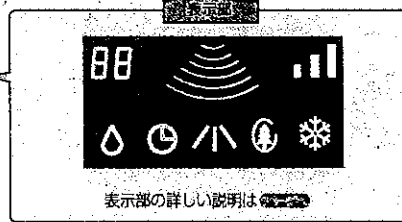
ご使用前

ご使用中

運
転
停
止



- 運転状態でこのボタンを押すと全ての運転が停止し、操作パネルには温度だけが表示されます。



表示部の詳しい説明は [こちら](#)

点検・その他

涼風・送風を切り換えるとき

切り換え



- 送風モード中にこのボタンを押すと、冷風モードに切り替わります。
- 冷風運転中にこのボタンを押すと、送風運転に切り替わります。

※ 冷風モードがオンの時、表示部「涼風モードアイコン」が点灯します。



※ が点灯します。

※ 冷風モードがオフの時、「冷風モードアイコン」が消灯します。



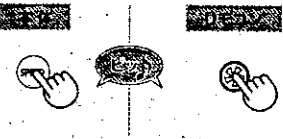
ご使用前

使用中

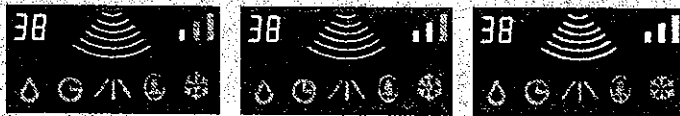
点検・その他

風量を切り換えるとき

切り換え



- 本体操作パネルの「風量切替ボタン」を押すとL-M-H-L-M…と風量が切り替わります。現在の風量は表示部に表示されます。



表示部の詳しい説明は [P.12](#)

※ 表示は左から右にL、M、H（低速、中速、高速）です。運転中にこのボタンを押すと、ファンは順番に切り替わります。

左右スイングを切り換えるとき

切り換え



- 送風または冷風運転状態で、このボタンを押すと、吹出口のルーバが水平方向に約60度スイングします。ボタンを押すごとにスイングと停止を交互に繰り返します。

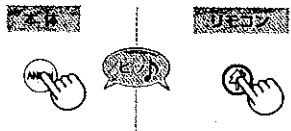
※ スイングしている時は液晶パネルの「**ス**」マークが点灯します。また停止すると「**ス**」マークが消灯します

スイングマーク

ご使用前

イオンモードを切り換えるとき

切り換え



- 冷風機が運転中、操作パネルの「ANION」ボタンを押すとイオン発生機能をオン、オフします。イオン発生器が起動すると「**イ**」マークが点灯します。

※ イオン発生機能が有効の時は操作液晶パネルの「**イ**」マークが点灯します。また、停止すると「**イ**」マークが消灯します。

イオンマーク

ご使用中

点検・その他

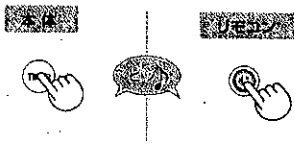
水タンク内の水位が下限値になるとき

※ 冷風機内の水が不足すると、操作液晶パネル 水不足マークが点滅し、ポンプを自動停止します。この場合はできるだけ早く給水するか、涼風運転を停止して送風運転でご使用ください。

水不足

タイマー運転を切り換えるとき

開始タイマー(設定した時間になると自動的に運転開始します)



① 差込プラグをコンセントに差して液晶パネルに室温を表示します。



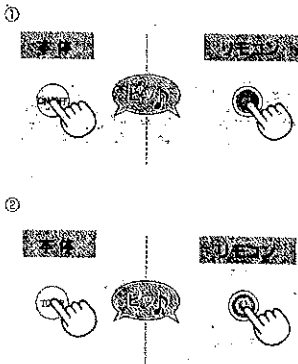
② 運転を開始する前に、操作パネルの「TIMER」ボタンを押すとタイマー機能を設定します。一回押すと1時間プラス設定します。



③ タイマー設定時間値が5回点滅してから、室温を表示し、「ON」マークを点灯します。設定した時間になると自動的に運転を開始します。



停止タイマー(設定した時間になると自動的に運転停止します)



① 差込プラグをコンセントに差して液晶パネルに室温を表示します。「ON/OFF」ボタンを押すと運転を開始します。



② 運転を開始してから、操作パネルの「TIMER」ボタンを押すとタイマー機能を設定します。一回押すと1時間プラス設定します。



③ タイマー設定時間値が5回点滅してから、室温を表示し、「ON」マークを点灯します。設定した時間になると自動的に運転を停止します。



ご使用前

ご使用中

点検・その他

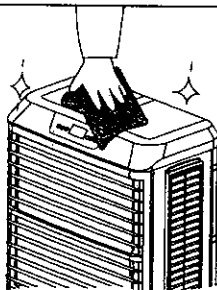
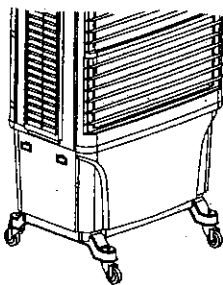
日常の点検・お手入れ

日常の点検・お手入れのしかた

※ 点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体の電源プラグをコンセントから抜き点検・お手入れを行ってください。また、分解は行わないでください。水漏れやけどのおそれがあります。

日常のお手入れ

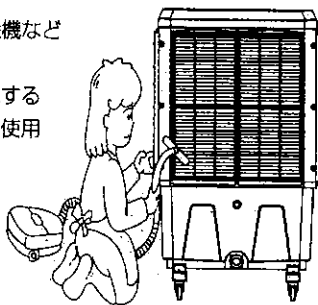
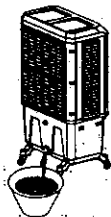
- ① 本体のごみやほこりをふき取ります。柔らかい布でからぶきするか、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。本体をベンジン・シンナーなどでふかないでください。



- ② 水漏れ・水のたまり・水のじみはないかご確認ください。異常があるときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ③ クーリングパッド風入口のほこりは、掃除機などで吸い取ってください。
④ 日々の運転終了時は水タンク内の水を排水することをお薦めします。排水しないで長期間使用

すると雑菌が繁殖して不快な臭いを発生させることがあります。排水は水タンク下部のドレンキャップを下方向に抜いて行ってください。



ご使用前

ご使用中

点検・その他

故障・異常の処置のしかた

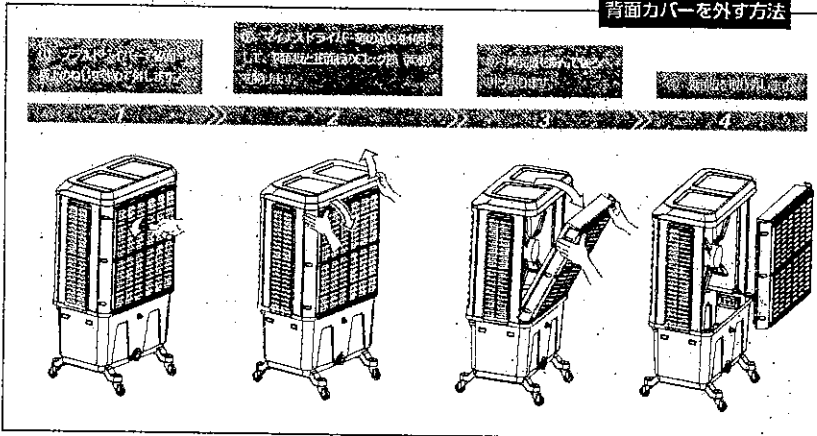
こんなとき	お調べください	参照ページ
正常運転しない ・表示部/操作部のランプが点灯しない ・操作ボタンを押しても受け付けない ・涼風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグはしっかり差し込みましたか。ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●電気系統の異常、回路の接続不良・短絡です。 ⇒ 修理を依頼してください。 ●水の不足しています。 ⇒ 水を補給して、本体を水平にします。 ●ポンプの動作不良です。 ⇒ ポンプの目詰まりです。ポンプ駆動を清掃してください。 ⇒ ポンプの効率で修理を依頼してください。 ●吸込み風量調整が不適当です。 ⇒ 換気不足です。窓や扉を開け、十分換気してください。 ⇒ 使用場所の換気が悪いです。換気ファンを調整してください。 ⇒ 天候不良で窓内外ともに湿度が非常に高いです。送風のみを運転してください。 	3 4 5 6 8 9
風の吹き出しが弱い	<ul style="list-style-type: none"> ●吹出口がふさがれていませんか。 ●吸込口に、ゴミやホコリが詰まっていますか。 	8
パネル液晶(青)が点滅	<ul style="list-style-type: none"> ●水の不足しています。 ⇒ 水を補給して、本体を水平にします。 	4 9
本体からの水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ●本体が傾斜になっています。 ⇒ 本体を水平にします。 	4 5
振動や騒音の発生	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンおよびその他の部品異音または締付不良の原因です。 ⇒ 修理を依頼してください。 ●フィルタ、クーリングパッドが目詰まりではありませんか。 ⇒ 清掃してください。 ●冷暖感の背面に十分なスペースがありますか。 ⇒ 空気の吸込み抵抗が大きく、モータやプロペラに過剰の負荷がかかっています。背面の隙間を50cm以上にしてください。 	8 16

ご使用前

ご使用中

点検・その他

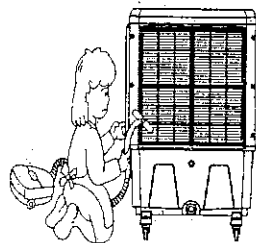
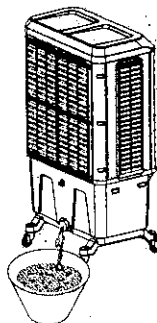
背面カバーを外す方法



保管・廃棄のしかた

次の手順に従って冷風機を保管してください

- 1 運転停止後、タンクの水を排水してください。
- 2 本体内部のカビ予防・乾燥の為、約2時間送風運転を行ってください。
- 3 電源コードをまとめ、バンド掛けにかけて、汚れを掃除機で吸い取って、本体を十分乾燥させてから、ほこりよけの布などをかぶせください。
- 4 湿気が少なく直射日光の当たらない場所に、立てたまま保管してください。



ご使用前

ご使用中

ご使用後

- 気化冷風機を傾けたり、横倒しの状態で保管しないでください。
- タンク内の水を抜かず保管すると、水が変質し、カビが生えぬおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだまま保管しないでください。
何らかの原因で運転スイッチが入ってしまうと火災のおそれがあります。

廃棄するとき

- 気化冷風機を廃棄処分するときは、各自治体の指示に従ってください。
- 必ずタンク内の水を抜いてください。
- 本体の処分は、本体をお買い求めになった販売店にご相談ください。